

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	現在の原発は、本来かけるべきお金をかけていない。津波対策、地震対策、テロ対策費用、加えて事故発生にそなえた、積立金等である。このように本来かけるべきお金をかけずに、原発はコストが安くてすみませよ、と説明されても、不愉快になるだけである。国民をだますのは、いい加減にしてほしい。原発の危険性の説明がはなはだ不十分である。安全性の確保のためには、外部チェックが必要になるが、原発には外部チェックが働かない理由は2つある。第一に専門性が高すぎるためである。テロ対策などの理由により情報公開が不十分とならざるを得ないからである。また電気料金を下げるためには、発送電を分離し、競争を促すことになるが、自由競争がすすめば安全対策が不十分になるのは不可避である。以上のように経済面、安全面からゼロシナリオを支持する。
2	どのシナリオも不完全だが、3択の中で選ぶならばゼロシナリオ。本来はまずゼロを実現するために、省エネはどこまでできるか、再エネはどこまでできるか、再エネはどこまでのばせるか・・・などの議論があるべき。省エネ 50%なら、再エネが同じ35%の量でも 70%になる。そういう組合せが全く検討されていないので、本来はそこからやり直すべき。
3	核燃料システム、コストに関して、話(具体的)がほとんど出なかったことが残念です。
4	原発いまずぐゼロ目標をかがげることが望みます。1000年に1度と言われようとも、1度そのようなことがおこると国の存続が危うくなるとわかっていることを選択すべきとは思いません。不十分であっても、代替があるのだから、そちらを選ぶべきです。福井の大飯原発ちかくで、明日地震がおきないと保証できる人はいません。大事故がおこらないと保証できる人もいません。今度も日本に住んで行きたいです。*パブリックコメントを書きます。それをどう決定に反映するか、教えてください。再稼働決定の時のように、多くが反対していても「一定の理解」とされてしまうのではないかと不安です。
5	原発はいりません。電気が足りないとか、安定供給とか、経済とかそんな問題ではありません。自然の災害を人の判断で「これ以上は大丈夫」を区切って、「安全な原発」を作るなんて自然をナメているとしか思えない。地震の活動期に入り、いつまた震災津波がくるかもわからない中で、電気が「足りないかもしれない」から再稼働。結局、ピーク時に足りれば良いのでは？だったら蓄電の技術を高めればいい。再生可能エネルギーをもっと研究して、国力をあげて進めてほしい。30%と言わず、もっとそれから、今回の応募者の意見の比率や具体的な意見を公表してください。自然エネルギーを、もっと意見する場をもつてください。聴取会のこと、まわりの大多数の人が知りませんでした。パブコメも、もっと周知して！
6	枝野大臣が言ったように、必要なデータとシミュレーションを可能な限り全て集めて、国民に開示していく。それこそが国がやるべき一番の対策である。地デジ化の広報以上に国任全てにメリットデメリットが浸透した上で、国民投票や総選挙でエネルギー政策を決める民主的プロセスを取ってほしい。
7	まず、この聴取会の開催回数が少なすぎます。意見をいう人も少なすぎます。国家の大事なのに、税金の値上げについては60何回もやるのにです。こういう聴取会と開いたというアリバイ作りにしようとしているのではと、皆が思っていると思いますよ。原発事故の後始末に30年もかかるようではそんなおとつた技術の原発など使用したくありません。コスト、安全面、将来性、環境負荷どれをとってもマイナス面ばかりです。原発をきっぱりあきらめ、新しく安全な技術で発電技術の革新をおこし、日本の将来の子供たちのために、"0"シナリオを不退転の決意で行って欲しいです。日本が前に進むためにはそれしかありません。
8	各シナリオについては、20~25シナリオ以外については非常に意欲的な内容だと思います。ゼロシナリオ、もしくは15シナリオの場合、各種の痛みが伴うことにはなりますが、この点、国民が「覚悟」が必要になるかだと思います。あまりこの点の議論にならない点が不安です。
9	やはり、ゼロシナリオを選択すべきだ。次の原発震災が起きたら、日本は滅びる。経済成長どころの話ではない。
10	原発事故の信頼回復をしてからの議論ではないでしょうか。今の現状ではゼロシナリオしか考えられませんが、それに向けて日本国民が努力することが大切です。それが日本としての世界に向けての責任だと思います。
11	ゼロが理想です。理想とはあるべき姿であって、だとしてそれに向かって実現していくというのがあたり前のことです。核分裂を人間の力でコントロールするのは不可能であり、また使用済燃料などの核のごみを安全に保管できる方法も見つからず、ゴミを出し続けるのはあり得ないことだと思います。今日参加を申し込んだ方、及び今後の各会場の中でゼロシナリオを選んだ人、15シナリオを選んだ人、20~25シナリオを選んだ人の人数(割合)と意見を公表してください。
12	核物質を操れると思うのは、人間のおごり。どんなにコストがかかっても、再生可能エネルギーにシフトすべき。それでも原発崩壊、日本壊滅よりは安いはず。原発でもうけた人は再生エネルギーでも上手にもうける方法を見つけられるはずなのだから、恐れなくて！ 申込時の3つの選択肢は、その数を正しく公表して下さることを望みます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	原発について15%～、または20%～と考えている方の意見を聞いても、あまり納得できるものがなかったし、裏付けが少なく感じました。0%を主張しているの方がより真剣に調べて考えていると思います。それは政府が情報をあまり出さないのが大きい理由です。またこの状況で8月に決まってしまうのはとても早急すぎて不安です。
14	選択肢から選べといわれれば、20～25%シナリオ支持、経済、環境を踏まえれば原子力は進めていくべき。(25%以上も有りうる)但し、福島事故の検証と反映、旧型炉の廃止を進め、改良型のより信頼性、良質性の高い炉を導入すべき。
15	P.B古いもの最新のものも混同して原子力を評価することは疑問。資料P.1の「共有されつつ方向性」は違和感あり。経済成長に先んじて、電気を確保する必要があり、原発の新設が必要。シナリオの上限にかかわらず、原子力の発電比率を高めるべき。国民は選択した電源に応じて電気代を払うべき。これで電源構成比率が決まって来るので、政府は過大な干渉をすべきではない。放射能の健康デマが多過ぎる。ここがブレると発電比率議論がゆがむ。LNT仮説を科学的に再検証し、政府見解を出すべき。低線量の健康デマを排除出来る。
16	パブコメ1.5カ月、他合わせ8月中に結論は国民的議論として拙速、当初5-8月でやるものを、縮めて行うべきではない。国民の意向の把握のための国民議論があるが、結果が反映されるとは書いておらず、これらの結果がどう決定に使われるか全く説明がない。独の倫理委の様に、公開で討論をTV中継等も含め、議論すべき。とりわけエネルギー環境会議を公開し、傍聴もできるようにすべきである。核燃サイクル、廃棄物処理コストについても分かり易く示し、原発比と併せ議論に付すべきである。
17	・即刻中止説を入れなかったことに問題がある。 ・福島の現状をどうするつもりなのか。 ・会場にも質問させるように。
18	温暖化対策の目標が後退し過ぎだと思う。もっと省エネはできるのではないか。東京都での節電の取り組みを見ても、震災前の水準と比較して、最大電力、kwh双方で10%以上の削減ができています。今回、省エネを深掘する選択肢がないのは問題。
19	視点3を入れるからダメなんだと。火力(メタハイ)ガンガンやればいいじゃん。
20	福島原発事故を経験し、二度とこの様な放射能汚染を繰り返さないためにも、原発は再稼働すべきではない。放射性廃棄物の問題も解決出来ていない中で、経済的理由で判断すべきでない。もっと省エネ、再生可能エネルギー推進に力を入れるべき。投資増を。今こそ、エネルギー政策の転換を求める。アンケート結果も公表して下さい。
21	ただ表向きの少人数告知もほとんどしないこんな会で、国が国民の意見を聞きましてなどTVなどで報じさせるだけのもの。やる意味がないとLIVEで知れてよかった。パブリックコメントに書いて出します。原発はNO、YESで翌年の事もわからない国が30年先の事を言うなんておこがましいだろ。
22	ゼロシナリオは当然であり、即時なのか10年なのか17年なのかが問題。とにかく8月中なんて急がないでじっくり議論してください。
23	廃棄物の問題を考えると、ゼロシナリオしかない。
24	原発のある不安なくらしをこれから何十年が続けるとするのは、ありえない。実質的には原子力が火力かの選択になると思うのですが、原発の事故の大きさと不安に比べたら火力を選び、それにとまなう経済減速、電気代の値上げは原発0の保険として国民は受けると思います。この意見聴取会をもっと公正にやってほしいです。
25	原発事故にかかる経済的費用を考えると、シナリオの前提の「CO2削減の必要性」をはずして、火力を増やす選択を考えるべき。安全保障の観点から、輸入にたよるのは問題との意見と、原発事故の国土の損失を比較すると、原子力発電の存在自体が一番安全保障上の問題であると思う。必ず回答してほしい質問。なぜ9人中4人が、0シナリオ支持者の登壇だったのですか？
26	エネルギーと環境が一くくりになっている。その為、原子力と再生可能エネルギーが両天秤になっており、議論しづらくなっていると感じる。個人的には原発は「0」でお願いしたい。国民投票という選択もあるかと思う。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
27	9人の方のうち、4人が「ゼロ」という人選には疑問です。会場の人ほとんどは「ゼロシナリオ」を支持しているのでは？若い方が「15%」や、「20~25%」を支持していることには驚きました。命を一番考えてほしいです。
28	ゼロシナリオを選択肢として選びます。太陽光発電開発、ドイツは6年で成果をあげている。20年後（2030年）の1200万戸に設置は具体性に欠けます。正しい知識の政策案を提示して下さい。17年後。
29	討論で抜けていることがある。環境問題。温暖化をいうが、資源の枯渇、人口爆発による資源のとり合い etc。「成長の限界」で言われたことも考えないとダメ。これから開通する整備新幹線は電気が必要。リニア新幹線も。
30	選択肢はやはり不足している。意見（パブコメを含め）をどのように使うのか、不明。明らかにすべき。30年までの見通しでは長すぎる。
31	事故を起こした人が誰も責任をとっていない。何故、シナリオが考えられるのか。その権利はない。必要なのはまず事故の責任を取らせる。を政府。何も変わっていない。また必ず事故が起きる。人命無視。金もうけ優先。
32	最後に発言された方もいたが、国民的議論と題した意見聴取会であるにも関わらず、フロアに発言の機会がない状態で「国民の議論を踏まえ」という文言を示すのだけはやめてほしい。あと、0%-15%-25~30%を選べるように選挙の争点にしてほしい。
33	コストの点を言う人は、食事に毒がはいっていても安いものを喜ぶというのと同じで、前提条件の"安全なもの"という事を抜いている。技術で安全を確保という人達はまず、2000度に放っておくとなるものを、入れても溶けない容器を開発してから言ってほしい。
34	根拠のない主張が多い。正確なDataでの議論が必要。国策として、どのような国をつくりたいのかを示すべき。エネルギー比率だけでは、目指す国が見えない。原子力の一定比率の利用は必要。
35	4と8の人の意見にほぼ同じ。さらに政治家、企業などの利権の追求。不都合なことは隠すなどの人的な部分の解決が必要。もともと今回の福島原発の事故、堤防の高さをきちっとしておけばこんなにひどくならなかったのではないですか？運営に関しては、質疑応答は不可欠。
36	原子力発電のオプションを残すべきである。理由は原子力の安全性を高め、利用できること、Co2削減のオプションとしては捨てがたいからである。原子力発電の選択肢としては、20~25%が適切。但し、新エネ、省エネを可能な限り止めることは賛成。現実的に新エネ、省エネを進められる分だけ、原力比率を下げて行くべき。（火力も含めて）結論としては、原子力発電のオプションは残すべきである。
37	将来の不確実性に備えて、原子力をエネルギー選択肢として維持することは重要だと思う。
38	3つのシナリオについての意見を聞き、立場の違いでとらえ方も違ってくると思いましたが、共通点を見出すとすれば「安全」であったのではないのでしょうか。結果として、どのシナリオになるのかわかりませんが、根拠のある数値を示し、情報をかくさずに国民に示してほしいです。最後の枝野さんの挨拶の公平性を守ってください。
39	責任を明確にすべきだ。（全ての）誰がどのように責任を持つ仕組みなのかを明確に。の刑事責任を明確に。根拠の説明を明確にして下さい。
40	1、脱と推進の論点が情緒と経済とフィールドがずれている。この国論を2分するこのテーマの難しさを実感する。 2、日本技術優位が前提で、推進も脱も不確定な中で机上の空論を述べている。 3、以上をもっとしても、脱原発は必要。0%しかない。但し、大切なのはプロセス、時間軸の示し方ではないのか。情緒ではなく、論理的に科学的方針をするのが政府の役目。 4、この会に出た私のような発言しない参加者の出席意義を考えて、次回の運営を考えてほしい。
41	疑問に思うのは水力発電（究極の再生可能エネルギー）をなぜもっと注目しないか、認可発電量3000万Kwhに対し、常時発電量10%未満。財務省令はダムの減価償却80年。ほぼ償却が済んでいるのに有効活用しないのは統括原価方式のせいである。廃止すべきである。
42	誰かが言いました。「人の命が一番大事」おなかをはっていても生きていられます。電気がつかなくても明るい家庭は作れます。でも目に見えないアイツが降っている世の中では生きることが出来ません。政府？今の政府も、原発を作った政府も嫌いです。
43	現実的対応を取りながら、最終的に0%に持って行ってほしい。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
44	福島は被災者が解決されずに原発の再稼働すべきではない。運営に不満。参加希望者のほんの一部しか参加できていない。国民に広く聴取会が知らされていない。
45	会の始まる前にアンケートを書き終えている人が多い。私のまわりはすべてそう。予めの思い込みで書いているので、今回のアンケートはデータとしては信頼不足。会の終了後にアンケートを配った方がよい。
46	一方通行で国民の不満(不信)がますます増す。国民の声の場を提供いただきありがとうございました。
47	方向としては危険なもの、有害なものを無くしていくということで間違いないと思う。原発が危険かという議論は、福島の事例により終わっていると思う。出来る限り早期の実現を目指すべきである。雰囲気の流れされてはならない。
48	抽選方法をスタッフに聞いたら、答えられず、非公表とか。「ヤラセ」ではないですか？シナリオの支持のバランスが世の中の感覚、世論と違いすぎです。
49	核燃料サイクルに投資しつつける方針の方が、ゼロシナリオよりも現実的ではない。良くも悪くも原発があるから他の有効なエネルギーのイノベーションが行われなかっただけではないか？メタンハイドレート、原油、天然ガスの採掘、掘削を本気でやれば、実は資源国になれるのではないか。ゼロシナリオ以外は現状維持にしか見えないし、理想としては経済効果を損なわない原発のない日本だと思う。核燃料サイクルが出来てもないので、火力や再エネのコストと比較できるレベルではなく、むしろ原発や核燃料サイクルは長期的に見ると、経済的ではないかもしれないとしたら、何もいい事がないしくみだと思う。CO2と温暖化の因果関係もはっきりしていないし、地球は数年後には寒冷周期にはいるともいわれているので、もっと理由のある、安全や安心を追求するべきだ。
50	・原発ゼロと決めたとき、日本人は一丸となって震災後の日本の真の復興に協力すると思います。(発送電の分離と電力自由化を真っ先にすべき) ・15%とゼロ%の間に選択があるべき。5%とか。すでに買わされている核燃料の分だけ使うとかの制限をもうけるべき。 ・資料10頁の次世代自動車やEVの導入の必要性のシナリオ。これはかえって電力を必要とするのだから、ゼロシナリオに一番比率高く入れるのは矛盾している。
51	この意見聴取会に何人の応募があり、何人参加したのか。意見表明者についてシナリオ毎に何人の希望者がいたのかを公表すべき。グリーンシフトの電源配分について太陽光、風力とともにベース電源となるものも算定すべき。再エネはコストがかかるというのは刷り込みではないか。再エネが経済で回すようになれば、コストは抑えられるはず。原発や火力の不安定さも経済的リスクにはなり得る。経済の議論が旧態依然としており、産業界からの圧力を感じる。
52	2、9の方の冷静な意見に賛成します。安全第一、技術立国で、産業も守るべき。感情的な人に国は任せられない。
53	これをきっかけに判断に足りない情報を補足しながら議論を深めて頂きたい。
54	将来の世代への負担先送りを回避するために、早期に原発依存度をゼロにすべき。このため、ゼロシナリオにある再生可能エネルギー比率と最終エネルギー消費量を目指す取組みを進めるべきだが、これらの強度のある取組の進展には不確実性が大きいので、原発の利用の余地を残しつつ、5年後くらいに取組みの再検証を行うべきだと考える。
55	国民的議論を行う機関が短かすぎます。今すでにゼロ原発で足りています。原発は不要です。化石燃料が不足した時に困るのは電気よりも輸送ですよね。ここで転換して、新しい産業と新しい雇用をつくることを考えなければ、日本経済に明日はないと思います。
56	正直な話、国がどうしたいのかわからない。原発依存度を上げたいのか、下げたいのか、選択肢が少ない。まず、国の方向性をはっきりしないと国民は納得しないのではないのでしょうか？もちろん裏付けは必要ですが。
57	将来の事なので正解は無いし、誰もわからない。但し、視点(選択する上での)として、「事故は起こり得るもの」という視点を、もう我々は無視してはいけなないと思う。
58	核エネルギーに手を染めた事がまちがいの元である。人類が制御できないエネルギーであること、核兵器の材料を作るエネルギーであること、このことから、0選択した方々の思いが良く通じた。アンケートの内容の全て公開を強く希望する。
59	8月に政策を決定すると書いてありましたが、誰がどのように決定するのでしょうか。国民の一人ひとりが関わる重要な政策を決定するにあたり、間接民主主義は限界があるのではないかと思います。また、選択肢が6月末に提示され、たった1カ月で決定してしまうのも不安があります。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
60	選択肢にこだわる必要なし。国民の生命、財産を守る義務が国にある。被災地の後始末が出来ない人に、物を言う資格があるのかな。
61	シナリオというからには、これを達成するための過程と、このシナリオで進んだ場合に、どんな暮らしができるのか、が見えなければなんの意味もないと思います。国として、どのシナリオがどんな暮らしをもたらすのかを示していただきたい。
62	事故の責任をとること(とれたこと)がきわめて不明確な中で、原発を動かしていくことはありえないと思う。責任をとることについては3段階あると思います。1つは原因を明らかにし、当事者を明確にし責任をとることです。2つは無理な部分はありながらも被害に遭われた方について事故前の状態にもどすことです。3つは、将来に同様の事故をおこさない技術、組織、しくみ、人をつくることです。その視点では全く今の状況は出来ていないと思います。
63	1、テーマは国防と同等以上なので幅広く多くの情報を公開した後に、意見を集約すべし。 2、従って興味のある人間だけの意見では、再び「第2の村」「第3の村」出来るだけだ。広く公開した後、専門家が討議し、それを公開、最終的には政治が決めるべき。以上のプロセスは本日と同じだから今回はあまりにも幼稚だ。 3、3年前は50%を選んでおり、3/11で風向が変わると原因究明をせず、旗を下ろすのは政治家の将来国家へのビジョンがあまりにも無い。 4、私は20~30%、津波の心配の少ない東京湾に耐震構造の原発新設を進めるべきだ。長年の立場利用のバラマキを止めれば必ず出来る。3回の被害を経験した日本しか出来ない本当に安全な原発を確立し、今後需要増のアジア、アフリカの役に立つべきです。
64	0%支持します。一番、安全な0からはじめよう。2030年まで18年、0%からはじめ、不可能と国民が選択したら変えればいい。18年もあるのだから。
65	この様な場はなるべく多くもうけて、多くの人に説明されることを望んでいます。
66	「選択できる」という権利が本当に保障されているならば、ゼロシナリオしかありません。科学の発展ですっかりぜい肉のついてしまった私たち日本人のくらしをゼロベースで考える時が来たと思っています。
67	政治家の皆さんも日本の国民です。私たちと同じ。日本は豊かです。今は、経済より生命の危機。命あつての経済。国民の命あつての国。命が一番。国民が協力したくなるような目標を掲げればいだけ。うしろめたさのある目標は罪だ。
68	1警備がいささか過剰なのでは？ 2全国11か所と少なすぎるのでは？ 3意見を聴く会なのに、意見を言える人が少なすぎる。 4開催日程(時間)を早く発表すべき 5発表者の選考はどのようにしたのか！？不透明
69	意見聴取会のあり方が問われる。(国民的討論)知らない人が大部分です。これからどう進めるのか。選ばれ方がわからない。
70	原発賛成の方はコストのことを必ず言いますが、原発は廃炉にするコスト、使用済核燃料を処分するコスト、非常事態が起こったときのコストを考えれば、どの発電方法よりも高コストなのは少し勉強すれば、誰にでもわかります。私には子供がおりますので、子供の未来のために原発をゼロに心よりお願い申し上げます。意見を述べられた方がとてもすばらしく、よく勉強されていて、とても勉強になりました。アンケートの結果を公表して下さい。
71	原発を減らした分をすべて火力発電という設定だけで考えるとさびしい。風力もソーラーも、バッテリーと組み合わせると火力にそれほど頼らなくても良いのでは？くらしの中で電気をより多く使うセッティングだと温暖化は防げないと思います。最後に来ている人から2~3人位話を聞いてあげても良いのではないのでしょうか。
72	省エネをもっと進めるべき。再エネをもっと増やすべき。
73	責任のない政治。国民不在の政治をしないで下さい。
74	ゼロシナリオの一択だと思います。原発再稼働についても国民的議論を。官邸前に毎週金曜に集まっている人々とも枝野大臣、首相は対話してほしい。
75	・経済的要因を無視すべきではないが、人命第一こそ絶対に譲れない論点とすべきである。 ・原子力とくに使用済燃料の処理コストを含めたトータルコストが公平ではない。
76	制御できない技術はなすべきではないので、ゼロシナリオを支持します。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
77	私は民主党がんばれ、と思っております。だから菅さんのご英断を引きつぎ、原発は廃炉の方向でお願いしたい。人間の力を過信してはいけないと思います。地球上におこる自然災害を封じ込めることができると思っているのが笑止。経済、利便性ばかりを追い求めて、このような状況になったのだということを、 の方、氏、氏は分かっているのか？ 停電になったら、ろうそくを使えばよい、電気料金が高かったら節電すれば良い、収入が減ったら、工夫して自分の手で作ることを思い出せばよいではないか。このような聴取会を全国11か所で開く、コストはどのくらい？
78	ゼロシナリオを強く希望します。地震国の日本で再び震災が起こる事は大いにありえます。人命と環境を失って、「私の責任において」といった総理にどんな責任が取れるのか、聞いてみたいとさえ思います。また、原子力を安価と言いますが、事故が起きた時の保障(税金)を考えると本当に安価と言えるのでしょうか？ 新しい分野の再生可能エネルギーで経済の発展を目指すべきです。最後に使用済棒や廃炉の手順も持たないままの原子力依存は無責任極まりありません。
79	・エネルギー選択には、世界の中での日本の位置づけをまず明確にしてから目標他を定めるべきと考える。 ・無理に再エネを進めすぎて、便乗する企業がたかり過ぎる状況を作ってはおかしくなる。
80	今まで以上の参考となるような情報を開示しつつ、より大きな規模で国民議論を巻き込みながら議論すべきだ。
81	多様の意見を直接聞くことができ大変よかった。
82	実現可能性や経済成長、国民生活を守る観点での議論が必要であると考えます。
83	原発の事故は現在よりもより将来の国民にも、しかも日本だけではなく、世界的な広がりをもって人々の命に直接かわる、いわば人類的なとりかえしの決してつかない悪影響を及ぼす。だから、何よりも安全の問題が重視されなければならないと思う。しかるに今回の「エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点」ではこの安全の問題が他の視点と同列に論じられていると思う。この点は、全くおかしいと思う。まずなによりも「安全」、人間の命を守ることが大前提となるべきだと思う。廃棄物の最終処理方法が科学的にいつまで未確立の状況のもとでは、原発は速やかにゼロにすべきだと思う。
84	エダノさん、口だけでカッコイイこと言わないで下さい。無責任すぎます。
85	0を選ばない人達は原発に対するRiskがどんなものなのか。政府は責任を持つというが、責任の取り方が相も変わらず不明。福島原発が終息していない以上、0以外は選べないはず。政府は何故、事故内容、福島で起きていること、原発のリスクを伝ええないのか。
86	0シナリオを全面的に支持します。意見表明者 番、番、番、番の方の意見と同じ考えです。このような場がもっと開催されるといいと思います。
87	今の日本の国力、国情、国際的な立場から、国民の雇用、家計の確保が優先です。そのため、安全な安価な低CO2のエネルギーを確保することが、第一と考えます。また、メディアの方に公平な報道に期待します。
88	原発ゼロ。その上で、政策をあらゆる可能性をもってつくる事。原発をあきらめる理由は以下。 ・平常運転時での被ばく(差別問題) ・核廃棄物管理(10~100万年後世におしつける) ・現在世の中にある原発は、設計そのものが、日本で起こり得る地震にたえられるものになっていない。直下型地震は原発に致命的。 ・矛盾だらけの原発政策には、情報の隠べいが不可欠、そんな国、政府にしてはならない。原発事故は人災。原発ゼロしかあり得ない。
89	不確実な将来、技術開発もこれから、混沌とした世界情勢、地球環境問題を考えると、ゼロシナリオは現実的にはない。15%シナリオも問題を将来に先送りするだけで、エネルギー政策とはなり得ない(国民生活を守る政府がとる選択)。安全安心の確保を大前提に原子力を維持しつつ、再エネ省エネにも取り組むとして、20~25%のシナリオが現実的な選択かと思う。平和ボケせず、現実を直視すべき。原子力や様々な選択肢を取っておくべき。選択肢を複数とれる日本は技術力が高いということ。それを簡単に捨てるべきではない。
90	核燃料の廃棄物処理がきちんと出来ない所で、原発を使うというのは、選択肢に入れるべきで無いと思います。目標はゼロシナリオにさせていただき、それでも10シナリオになるのは仕方ないと思います。
91	国の根幹にかかわる選択であることは、わかっているんです。でも、今でも福島が収束していない状態で、この先、もっと何かおこってくることも予測できる中で、また原発を稼働させたり作ったりしていいのかと思います。まあいろいろなことが関わっているんですよ。原発-政治-環境-経済-外交-医学-教育。黒沢明監督が描いた「夢」の中で、「鬼コク」というエピソードで、原発爆発後、放射能で生き残った人間がみんなツノがはえて「オニ」になってしまう話があります。そうなるのかなと思ったりします。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
92	やり方が強引すぎる。期間短く、発言者が少ない。
93	この3パターンの中では0%シナリオを支持する。なぜなら核燃料サイクルを否定するシナリオが他にないから。太陽光や風力で30以上を担うのは現実的に無理がありそう。・燃料電池や他の技術をもっとクローズアップすべき。・核燃料サイクル前提の原子力はとりやめるべきだと思う。それが核のゴミを資源だとかまかしているように感じる。
94	原発ゼロシナリオを支持します。RISKの次元が違う。
95	スタッフ、役職名前、明らかに参加者知り合い同士、なれ合い数合わせ。報道異常。アンケートのまとめ、参加者に知らせる。
96	・会場が寒いです。節電意識を高くもっていただきたい。・の意見者がおっしゃっていたように、シナリオの設定がおかしい(中間パターンに5%etcのシナリオをおくべき)・事故対策が確立されていない原子力発電はリスクでしかないのでは?・電力不足は原子力でなくても解消可能。・何より60年に1度、大事故が起きて対応できず、右往左往するような原子力は即刻廃止すべき。・雇用やコスト重視で原発に依存するのはおかしい。・発表者の言うとおり、安全確保の具体的シナリオがない。これがないと原発依存シナリオも成り立たないのでは?・再生可能エネルギーにニーズがあれば、企業が参入して技術革新がおきるはず。「0シナリオを支持します」
97	原発ゼロシナリオもわかるが、コスト面を考えると、大いに不安を感じる。ゼロシナリオでそのコスト負担が国民にかかると企業の存続、また、雇用面の問題につながる。特に電力使用の多い企業(鉄鋼業、特に電気炉)は存続が出来ない状態となる。そうなるとう経済的にも不安となる。よって原発の安全性をしっかり高め、安く安定的に電力を供給する仕組み作りを求める。・20~25%シナリオに賛成。但し、しっかりとした原発安全性を確立すること。日本の技術があれば、絶対に出来る。6,9番の意見に賛同です。
98	経済政策、コスト問題、GDPなどの論点は、命をおびやかす原子力発電を維持するためのものとなっているようだが、本末転倒であり、まわりまわってハイコスト、ハイリスク、そしてノーリターンどころか、生命を危険にさらすマイナスリターンを生じさせる原因となる原子力発電からは出来る限り早く手を引かなければなりません。地方経済の雇用を原発に依存したつげは大きく、行政の責任は重大です。日本は地震・火山国であるという認識に欠け過ぎている。意見聴取会については幅広く国民に知らせる義務と責任が政府にはあります。今、震度8以上の直下型地震が首都圏に発生すると、福島原発の崩壊、日本は死の国になります。
99	エネルギー問題を安定面、経済面など様々な角度から考え方はあるが、国民の幸福が一番の念頭におくと、ゼロシナリオしかないと考ええる。原発はリスクが高すぎる。住めない地域が出てくることは本当に日本が終わる。国や政治家は夢を語るべきだ。夢のない国に誰も住まない。本気になれば、クリーンエネルギーを早急に実現できるはず。
100	5人目の学生の方が言われた通りで、両方の意見についてちゃんとデータ等を提示して欲しい。それからこの会議の結果ではなく、選挙で決めるべき。
101	手話がいない。ダメ。それだけで。空調が効きすぎ。どうということ?大臣が来客だから?本末転倒。登壇者の指摘により途中から緩めた。国の真剣さはいかほどか。それが見えた。会場警備が物々しすぎる。やましい事があるからこそその国側の恐れに感じる。本質からずれていて、なさけない。賛成は経済的視点。反対は、リスク視点に大まかに分けられる。リスクはゼロにならないのも明らか。日本の経済ビジョンにおいて、他のエネルギー依存で世界と戦えるのか。その検討を。原発リスクを徹底究明すべき。そして国民みんなで日本の未来像を構築すべき。我々も国も。国が目そむけてはいけない。
102	・原発依存度を減らしたいという割に、この会場の空調効かせ過ぎ。民主党は言っていること、やっていることが全く乖離している。・空席が多く、落選した人が多かったのに、どうということか?東京なのに参加者170名って少なくないですか?・ゼロシナリオの人ばかりで、会として成立していない。この会の結果を活かしたら、ゼロにするつもり?・運営が雑。
103	最後の方が提起したように、応募者総数、各シナリオへの賛同数を公表すべきである。今のやり方では、「国民の皆様からのお声を広く伺いました」ということのアリバイづくりに利用されるのではないかと、という危惧をもたざるをえません。選択肢については、パブコメに書きます。
104	これらの貴重なパブリックコメントが、どのように今後のエネルギー政策に反映されるのでしょうか?全国11会場、税金を投入して運営されているならきっちりとやっていただきたい。
105	みんなの意見をもっと聞いて下さい。私たちは傍観者ではありません。これが民主的な国民的議論でしょうか?

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
106	<p>さんの言っていることに共感したが、福島原発の責任も取っていない(取れない)ような政府が、これからの原発に関する政策に責任を持って取り組むと言われても全く信用できません。国民の意見を無視して、大飯原発の再稼働を決め、これからの原発に関しても、ほとんど秘密裏と言っていいほど、国民を無視して進められていることに怒りを覚えます。このような重要な事柄に関しては、選挙で決められたらどうですか？政府の信用を取り戻すことが、新しい政策を進めていくよりも先だと思います。</p>
107	<p>原子力発電はすみやかにやめてほしい。二人の息子と全世界の子供たちのために。一部の人の利権のために、多くの人からお金を搾取し、発電所の中では低賃金で被爆しつつ働く非正規労働者たちを病気にさせて死なせ、周辺に住む住民にも健康被害を与え、10万年もの長い間、たった40年使った電気のために放射能のゴミの管理を子孫に残す無責任ではただあきれられるばかりだ。非道徳的で恥ずかしいことだと思う。海岸線ぞいに、ただのミサイルを撃ち込むだけで、核兵器を担うのと同じか、それ以上のダメージを与えることができる原発を使うのは、国防上もおろかとしか言えない。地震にもミサイルにも耐えられないので、もともと建てたこと自体、おろかなことだったとしか思えない。ゴミ処理、廃炉費用、今回の事故の被災者への十分な補償を先に考え、核燃料サイクルなどという1Wも発電できず、技術的にも不可能なものには1円もお金を使わないでほしい。もんじゅの冷却剤の液体ナトリウムをあたためつづけるのはムダなので、もうやめてほしい。使って燃料を入れなかったドイツは非常賢かったし、市民の「安全性を調べてほしい」という希望を聞いたことは本当に民主的だったと思う。核兵器を持ちたいから原発を続けたいのだと、他の国に疑われるのは当たり前だと思う。それ以外の役に立たないから。</p>
108	<p>もっと多くの人の意見を聞いてほしいです。</p>
109	<p>選択肢議論のスタート部分である「他の電源と大きく正確が異なる原発を事故という経験を踏まえ、継続的に電源とみなせるのか？」という倫理的検討が必須です。又、送電ロスが大きく改善する最新技術を反映した電線の新規採用、コジェネレーションの拡大により、エネルギー効率が大幅に改良できる。この可能性の検証・追求を行いたい。15%、20~25%案は、信頼性の回復、実証ができて後に再検証すればよい。 ・意見聴取会、パブコメ、DPのとりまとめの仕方、プロセスの透明化、集計データ、判断根拠、説明をしっかりと求めたい。</p>
110	<p>・経済的というのであれば、長期的リスク・何万年も管理するデメリットもきちんとカウントして下さい。 ・みなさんの意見から、日本の技術が優れているという共通認識はあったと思います。それを原発から脱する方向に使うべきであると思います。 ・原子力のダークサイドは、これからどうしてもバレてしまうと思います。もうだまされませんよ。国と電力会社・メディア・金融・メーカー・そしてアメリカ・・・原発マフィアの利権ってすごいもんだったんですね。それから脱して下さい。仲間からはおこられるでしょうが。「原発中毒」ですね。パワーサイドはいいですが、原発はやはり不平等の象徴・核兵器につながるものです。 ・そこからやはり脱するべきです。 ・先の震災から、私たちは新しいフェイズへ進む準備ができています。思いは強固です。国という立場でも、あなたも一人であるはずですよ。それを忘れずにこれからも国民ときちんと話して下さい。100万年後の子孫に会いたいです！ ・これまでは一方向的な情報操作ができたかもしれませんが、それができた時代は終わりました。一般人の力、これから見て下さい。 ・もっとクリアな日本へ。どうか！</p>
111	<p>私はゼロシナリオ支持ではあるが、15%もしくは25%シナリオ支持者の意見に耳を傾けるべきものが多かった。例えば、「太陽光パネル設置等のハードルが高すぎて、現実的に達成できるか不安」「回収できない投資は企業は選択できない。電力価格の上昇はそのまま業績の悪化につながる」「CO2の削減は絶対に必要」といった意見である。そういう意見を聞くと、今回の3種シナリオには、抜け落ちてしまっている議論も多いと思わざるを得ない。さらなる「意見聴取」の取り組みを政府に期待したい。このままでは、議論が深まるとは到底思えない。</p>
112	<p>原発問題を語り聞くためには議論できる型にしてほしいし、核燃サイクルについてももっとつっこんだ説明が必要で。なぜプルトニウムが必要かということは、石破元大臣の発言にもある通り、防衛的な問題がはっきりと示されています。核爆弾をどうしても作る得る状況を確認するために、原発から出た危険きわまりない燃料(廃物)をさらに危険を犯して再処理し、高速増殖炉を通して純度の高いプルトニウムを確保することを望んでいる、と発表してはいかがでしょうか。上記については現実的に難しいことは承知のうえですが、国民はもうバカではない。原始カムラと呼ばれてる方々の言いなりになって結局放射能に命をさらされ、子どもたちの成長を胸を痛めながら見守り、被ばく労働の方々の苦勞と危険を見てもみふりを見ながら生きて生くのはいやです。今日は多少の議論につながる内容でしたので、そこは評価できると思いました。枝野さんの対応も適切だと思います。でももっとこのような機会を多く広く周知して実施して頂きたい。でも放送して下さい！いずれにしても原子力発電のすべての行程に、差別構造が指摘されています。だれかを踏みつけにしないと発電されない電気を使いたくないのです！せめて選べるようにして下さい。切なる願いです。</p>
113	<p>冒頭の説明で原発への依存率を下げるとコストアップとなり国民生活や産業に影響すると言っていたが、政府の役割は国民をおどして、世論を誘導することではないでしょう。国民が望むシナリオを選んだら、国民生活や産業への影響がないようにするのが政府の役割でしょう。最後に枝野大臣が差し迫るシミュレーションを寄せて欲しいと言っていたが、このようなみじかい国民的議論の日程では無理ではないか。最後の発言希望についての対応、国民の声を聞け！</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
114	ゼロシナリオしかありません。賢い日本人ならゼロしかないんです。エネルギーシフトしましょう。みんな、全力で。2030までではなく、即ゼロを支持します。廃炉ビジネス=雇用ですよ！！さいごに客席から発言した女性、ぜひ意見うかがいたかったです。内容を聞いてからの判断で良かったのでは。
115	9人いるだけでもさまざまな意見でした。このような議論をもっともっとやってほしい。5番目の人がいったように賛成、反対いろいろ意見や専門的なことなども国民に提示して、国民1人1人がよく考えて、意思表示していけたらいいのではないのでしょうか。東京、大阪、静岡、新潟・・・と原発都(県)民投票の署名もかなり多く集まってきていました。そして毎週金曜日の官邸前での抗議デモもかなり多くの人々が行動しています。この民意についても今回の枝野大臣さんたちの国民の声を聞きたいというこの取りくみに反映させていただくことはできないでしょうか。私たちは決して枝野さんたちを敵とは思っていません。私たち国民の声をきいてほしい、耳を傾けて一緒にこの日本の将来を、日本の子どもたちの将来を考えていきたいと思っています。町田では市民と協働のまちづくりをしています。ですから、政府の方々とともに国民と協働でまちづくり、国づくりをしていきたいそう思います。開会のあいさつで枝野大臣がおっしゃっていた国民の皆様の声に真摯に耳を傾けていきたいという言葉に信じています。どうぞよろしく願います。
116	こんなの、何が意見聴取会なんですか？これ、枝野さんが本当によむんですか？だとしたら、これは、どんな風に活用されるの？どれくらい参考にするの？毎週、国会包囲されて大変でしょ、嫌でしょ？だったらもっとやり方をかえてよ。私たち、なんでここで人の話を聞いたの？ネットで見ればよかったじゃん。どうせ何も言えないならさ。運営の仕方がおかしいよ。これでは、「形だけ、形式だけって云われても仕方ないですか？頭いいんでしょ？大丈夫？？しっかりしてよ。あと、9人来て話したけど、「論点」は明らかですよ。それについて、国民のみんなが理論的に考察できるだけのデータがないのに、8月に戦略決定するの？パカじゃないの？私は、デモとか国会包囲とか絶対やりたくないんです。嫌いだから。でも、もっと科学者の科学的な話をわかりやすく公表してよ。それで初めて理性的な「対話」ができるんじゃない。あと、パブコメ！！あれどう扱うつもりなのかぜひとも必ず発表して。うちの夫さ、一生懸命書いてんだけどかわいそうだよ。無視されたら。8月に決める問題？ねえほんと頭大丈夫？あとさゼロシナリオ以外のシナリオってなんで再処理とセットなの？そこちゃんと説明しなよ。おかしいよ！こんなやり方ばかりして、「国民が理性的じゃない」とが言われてもなー、と思いますよ。
117	15%もしくは20-25%を支持します。電力は最低限のインフラです。原発については安全性を確保の上、稼働を継続すべきです。原発がないにこしたことはありませんが、現状では、エネルギーセキュリティ、雇用の安全確保、再エネ導入時における補助電源として必要です。日本の所得は8割が給与所得者です。その8割の所得の源は企業活動です。その企業が再エネによる電気料金の上昇によってコストアップが問題になり、海外に出ていけなくてはならなくなると雇用にも影響する。結局、再エネも進まずCO2削減も進まない。
118	大飯原発再稼働の前にこのような聴取会を開かなかったこと、さらに「国民的議論」と言いつつ、本聴取会の参加を広く国民に呼びかけなかったことなどの点で、そもそも本聴取会が形だけのものであることが参加前から伺い知れた。今回の聴取会の大きなテーマとなる「どのような選択をする場合も原発からグリーンへ」を素直に国民が信じるとでも思っているのだろうか。福島原発事故が何一つ終わっていないこと、原子力基本法をこっそり改悪したこと、国民の声を何一つ聞かず大飯を再稼働したことなど、こうした最近の政府の動きを見て、「グリーン」などというイメージにだまされるほど国民は無知ではない。本聴取会の資料を見ても、ポーズとして「エネルギーに関する選択肢の国民的議論への参加を期待」としていても、国民の意見は礎にされないことがよく分かり、これが国家戦略であると再確認できた。「原子力の平和利用」のプロパガンダをもとに原発を推進した時代とは今は違う。原発を推進することで利益を得る一部財界、政界、米国と相手は大きすぎる。でも本聴取会の資料から、むしろ表に書かれていないそれらの人々が原発を推進していることがよく分かる。こんな意見書など、読む人もいないのだろう。たいへんくやしいが、何らかの仕方で反原発を訴え続けていきたい。
119	運営：・参加の連絡が前日(欠席連絡はその日の18:00)とは、あまりに準備に無理があるのではないかなと思う。何が何でも8月中に決めるというゴールありき。本来はもっと時間をかけて広く深く国民の理解を深めて議論すべき。・発言者が事前に決められた9名のみ。他の参加者は質問も意見も出せない意見聴取会とは全く全く不十分です。意見交換・議論の場が必要です。・エネルギー庁長官？の説明、ここで何を求めるのかしっかりアピールできる説明をするべき。棒読みなら資料を見ればわかります。・さんの意見にありましたが、パブリックコメントをどう扱うのか明確にしてほしいです。「いろんな意見を聞きました」だけでは困ります。・討論型世論調査は1回だけですか？それではそういう方法論のお試しで、結果は活かせないでしょう。運営に関して：・今日およびこれからの意見聴取会は、どう活かされますか？具体的に教えて下さい。特設ページに書いて下さい。(どういう意見がどれくらいあったのか。エネ・環会議はそれをどう評価したいのか等) 選択肢について：・エネルギーの選択をすることになったそもそもの発端は、事故を経験して「原発をどうするか」ということだと思います。そのためには、原発の事故をどう評価するかということをもまず議論しなければならないのではないかなと思いました。25%支持の人も「原発の安全が確保されたら」という条件つきでした。その点をおきざりでは選択にならないと思います。・今日出た意見や疑問に専門家が答えるというステップが必要です。それが1回の討論型世論調査しかないのは問題です。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
120	一度選択したことで間違っていましたという事はできない。安全性を向上した上で、現実的な選択が必要。原子力を使用しないことにより国として滅びてしまったら意味がない。ゼロはありえない。議論は少しゼロを主張する人が多いが、今後もゼロの主張は必ず一定数いると思う。必ずしも一つに決める必要はない。例えば、シナリオに応じて電気料金を設定し、ゼロシナリオの人数に応じて原子力を一定期間停止するという事もできると思う。
121	2番、3番の選択肢は、もう原発の過酷事故は起きないという前提に立っていると思われるが、その根拠と保安院や 経産省という事故の当事者ではなく第三者の検証をもとに示すべき。それができないのに急いで8月までに決めようというのが理解できない。ゼロシナリオ以外の選択肢はあり得ない。第二の過酷事故は、自然災害、人為的なミス、テロなど、様々な「新・想定外」な理由で明日にでも起こり得る。そうしたリスクを唱える専門家やジャーナリストの声になぜ耳を傾けようとならないのか、政治的な思惑に沿って、最初から結論が決まっている。すべてはそのアリバイ作りに利用され、利用できないデータや意見は無視されてきた。この意見聴取会もそのうちの一つにすぎない。15%シナリオを導き、現状を維持するための有効な手段として使われることは明らかだ。フクイケの事故はだまされ続けてきた国民の無知が引き起こした事故であり、国民の責任である。真実を知るための努力をもっと一人一人がするべきだ。地球温暖化を引き起こすCO2の削減のため、原発が必要という大ウソに気づくことがまず大切である。CO2と地球温暖化は無関係であることは、 氏や元原子力安全委員の 大学の 教授、 氏ら多数の専門家等の文献・データによる指摘で明らかである。原発は火力発電に本気で取り組めば不要であることに国民が気付くことが必要である。
122	今ここで決めなければただいたずらに時間のみが過ぎていきます。今の日本の技術力であれば、原子力発電の安全なクローリング・他のエネルギー源の開発と利用・さらなる省エネ技術の向上、について世界に発信できる結果を生み出せると信じています。
123	経済への悪影響を前提としており、どの選択肢も非常に問題が多いと感じる。未来を担う若者、子供たちのために、豊かな社会を築くのが政府の責務である。 原発35シナリオ（総合エネ調の参考ケース）、原発45シナリオ（現行計画）という選択肢も作るべき。豊かな国民生活を維持するため、原発の利用を拡大したいと考えている人にとっては、その選択肢も納得できないものになっている。 省エネ（省電力）について、実現可能性に疑問。電力需要のGDP弾性値はこれまで一貫してプラスであったが、今回の選択肢はマイナスとしている。こうした非現実的な想定をするべきでない。 再エネについても現実可能性に疑問。太陽光を1000万戸以上に設置、風力を東京都の1.6倍以上に設置できるわけがない。 エネルギー問題を議論する際は、理想論ではなく、しっかりと客観的事実をもとに議論すべき。 経済影響分析について、国立環境研究所と 大 教授のモデルを排除すべき。この2つのモデルはコスト等検証委員会のデータを正しく利用できておらず、不適切なモデルである。
124	原発はゼロでも、経済成長前提下で全く問題ありません。理由) 電源立法で原発の発電代替は義務付けられており、火力で代替できている。(特に天然ガス) 天然ガスは世界中で近年埋蔵量(可採が急増し400年分に達しています。) 天然ガス(LNG)価格は原油連動だが今後日韓協力して産ガス国と交渉(2012秋以降)し、下げられる。また米国、カナダのシェールガスをLNG化して2015~輸入できるので、一層低下できる。 そもそも原発のコストが、一番安いはまやかし(METIの)。変動費のみ比較で、全部原価の(廃棄物、廃炉など)比較では最も高いです。 米国も1979スリーマイル島事故以降最近まで連邦法で新設を規制しておりました。現有の100基余りは全て、40年レベルの老旧原発です。使用済の核燃料サイクル技術(もんじゅ、六ヶ所村)は未確立でほぼ、現実是不可能に近く、高濃度放射性廃棄物化しています。資産勘定からは、償却しなければならず、電力9社のバランスシートは、一気に債務超過です。全国有化も視野内です。ここまで原発(54基)増やした政官業学のエネルギー・電源シナリオの失策、破綻は明白。 今夏、 管内では、火力のバックアップを得て、十分に電力は足りるのに、不足しているという政官業学の報道は、原発再稼働を前提とするプロパガンダです。 が 国有化は、電力が市民の手に入ったという事です。政府は、相応の情報開示、価格(コスト、電気代)などは、意見の直接聴取など市民の主権を尊重すべきです。 経営陣は、大株主の国民から取締役を入れ、意思決定すべきです。 管内は大飯3、4号基再稼働なくとも2500万kw供給(火力+水力)を軸に、他社電力融通及び昨夏以来の企業、業務、電鉄などの省エネ投資、さらには節電マニュアルの浸透により柔軟に需要に対応可能です。
125	安価で安定的な電力の供給は、国民生活、経済活動を行っていく上で必要不可欠なインフラの一つである。再生可能エネルギーの拡大にともなう発電コストの増、系統化対策によるコスト増は避けられないものです。福島事故を踏まえた安全対策を行うことを前提として、安価で安定的な電力供給が可能な原子力は最大限活用すべきであり、3つのシナリオの中では「20~25%シナリオ」とすべきと考えます。加えて、ものづくり立国である日本を支える日本製造業は産業の空洞化の危機に瀕しております。円高をはじめとした6重苦に加え、電力コスト上昇が見込まれる中では、空洞化は更に進みます。足下ですら、日本の電力コストは他国よりも高いのが実情です。企業の国際競争力を支えるためには、競争上のイコールフットリングを確保することが必須であり、そのためには電力コストを抑制することが必要であると考えます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
126	7/5付の東京新聞に書かれている記事が事実とするならば、この短期間で本当に真に国民の議論を経たと言えるでしょうか。このような意見の聴取のやり方で、エネルギー・環境会議の中に反映するというのは乱暴なやり方です。まさにアリバイ作りだと考える。参加に至るプロセスでも相当な混乱ぶりを感じています。参加メールが開催の前日にメールでくるという状況をみても、しっかりした体制で意見の聴取がされているだろうか。やはり納得できません。また、一般意見者の初めに室内の温度が寒いのでジャケットを着ているという発言。節電、クールビズを言っている政府主催で、室内温度を守らず、国民に強いること運営面の杜撰さを感じます。あわてた空調の調整からうかがえました。"退場"金属探知機"国民を犯罪者視点から運営されている、これが開かれた会と言えるでしょうか。
127	資材が経済的、コスト面が多いが、安全面はどうなの？廃棄物10万年はどこに置くの？そもそも大飯原発動かさなくても電力は足りてるでしょう。CO2と放射性廃棄物では、回収できない放射能の方が環境悪でしょう。意見発表はできなかったが、参加者として来場したが単なる観客でしかない。このアンケートだけで参加なのか。枝野さん、あなたは解散総選挙になればただの人になるのです。この会が公平な運営がされているのか？事前に意見を聞いた上で公平な参加者になっているのか、ネットで公開して下さい。全体としてゼロシナリオが支持されていましたよね。拍手も多かった。
128	コストの観点（とくに発電コスト）のみからの説明しか行われていない。福島の人々からヒアリング等を基本問題委員会で行われていない。また意見募集等行われてきたことは評価できますが、ほとんど反映されていない。パブリックコメントも同様に扱われることを危惧している。また、15%シナリオの根拠について、事務局はどう理解しているのだろうか。15%のシナリオは「原発事故前」を前提にして、40年廃炉稼働80%にしていくのが、15%（14.8%）シナリオであって2030年で考え直すのは意味が分からない。最初に基本問題委で提案した 氏の意見からはかけはなれている。なお、40年廃炉でかつ活断層などの危険性の高い原発を廃炉にすると5%前後になる。また14.8%には浜岡、柏崎、女川、東通などを動かす前提となっていることは大きな問題です。最後になぜ9人なのか。根拠及び選定プロセスの提示を求めます。同時に個人情報の開示は難しい面はありますが、「国民の代表」として選ばれているので提示されるべきだ。追記ですが、枝野氏が、「公平中立」というデータを提示したとされるが、求められるのは「事実」と「そのプロセス」です。その点は修正していただきたい。特にプロセスについては、以下の点を開示されるべき。・CO2削減の計算 ・発電コスト ・経済モデルの計算式 ・根拠
129	様々な目標"数字"がありますが、"数字"をつくりあげる、数値化できない大切なことは"人が胸をはって生きること"だと感じました。私や私の周りの1000人ほどの知人にとって"胸をはって生きる"ことは、イノベーションすなわちシフトに挑戦する事です。知人の中には、海外の方々が100名以上います。エネルギーシフト、すなわち0シナリオに政府と国民が挑戦する姿が、海外と国内の若者に勇気を与え、若者たちが胸をはって生きることにも貢献できると思いました。
130	・15、20-15シナリオでの原発の新規増設の数を明記願います。 ・15、20-15シナリオでの原発の稼働年数を明記願います。 ・福島原発事故で、どのような損害が出たのかを明記願います。「見える化」をお願いします。「何の作物に対して」「損害与えた出荷量」「その金額」などを明記願います。 ・ゼロシナリオを支持します。 ・福島原発の事故原因は「人災」であると、国会事故調で報告されている。政策に影響を及ぼした（規制をゆるくするよう働きかけた電力関係者、その主張を受け入れた政策関係者）に対して、具体的な責任追及を行う必要がある。 ・福島の事故は未だ終息していない。避難者、立入禁止区域が未だ存在しており、第一原発の処理も全く作業は終了していない。あと数10年はかかる。 ・福島原発の事故原因はまだ明確になっていない。事故原因不明ということは、他の原発でも事故が起こり得る。早期に（上記規制に影響を与えた電力、政策関係者に影響されない）第三者による事故原因究明をすべきである。 ・再生可能エネルギー推進をすべきである。FITが成立したが、事業を行うには、数年にわたる準備期間が必要である。再エネ推進のため2～3年後の設備導入時の買取価格を定める必要がある。再エネ推進のための、系統の強化が必要である。原発の電力を送電するために系統強化の費用を使っていたが、その費用を今後再エネのための系統強化に使うべき。 ・原発は「安定な電力源」という表現はやめるべき。 ・原発は、問題（事故）がおこった際、影響が非常に大きいため、廃止する必要がある。停止すると大きな設備容量分が停止してしまう。原発は巨大な「不安定電源」とも言える。 ・東京電力の破綻処理を確実に、早期に行うべき。破綻処理により、株主責任を問うべき。破綻処理により、経営責任を問うべき。 ・電力自由化を早期に行うべき。 ・原発作業員の安全、賃金保障を確実に行って下さい。
131	福島第一原発の事故対応と、今後の安全対策への不満や不信感等について言及されている方が多かったので、まだエネルギーを巡る一般意見聴取会を開く段階に行くには尚早だったのではと思った。まず、事故への対応、取組等、万全を期した上で電源構成比率を再度考えたらどうかと・・・。また、自然エネルギーの現状分析や今後の見通しが不十分であり、この点について再考する余地がある。と同時に、原発を廃炉にしていくならば、どういうスケジュールでどう進めるのかというロードマップのようなものもセットで話さないと、0・15%シナリオは説得力にやや欠けたままになる。あと、9名の意見表明者が選出されていたが、市議の方が入っているなど、選出のプロセスが不透明な点が見受けられた。どういう選出方法なのかをある程度でもいいので公表しないと、フェアでないと思われるので仕方ないです。最後に、このような会やパブコメがどう今後で反映されていくのかが、いまいよく分からないので、それが一般の関心をあまり引かない原因ではないかと思えます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
132	まず、開催の周知が全くといって良いほど成されていない。TVでCMひとつ打つでもなく、ニュースになるでもなく、ネットとわずかな新聞記事のみ。小規模に済ませようという意志があるのだろう。そして、たった9人しか発言、議論を許さず、このアンケートのみをもって今日の「聴取会」を済ませようとするならば、それは民意の否定だ。今日の9人、とくにゼロシナリオ以外の6人だが、彼らが原子力村と無関係の一般市民であるという証明をしてほしい。これは必要不可欠である。また、全国11ヶ所と言わず、全都道府県で開催してもらいたい。エネルギーの選択肢について：15%シナリオの不備について、見過ごすことの出来ない大きな穴があります。核燃料サイクルについて、再処理、直接処分の併存とありますが、これは新大綱策定会議の意志を全く無視した、原子力安全委員会のみの見解であるということです。実際に、複数の委員から抗議文が提出されています。そもそも新大綱策定会議が中断（停止？）したのは、技術小委の裏で行われた秘密会議の再発防止策をまとめるのを待つためでした。それが、大綱策定会議不在のまま、信頼性を既に全く持たない安全委の見解をこのような場に置くこと自体、論外である、と言えます。よって15%案+全量直接処分という選択肢の提示を強く求めます。それが無い以上、ゼロシナリオの選択肢しか支持できません。
133	20～25シナリオに賛成です。再生エネルギーについて、特に風力は地域が東北日本海側と北海道地方に設置場所が多いが、これから送電線網の確立等に時間が必要となる。太陽光にしても、現在の買取制度では金額が高すぎて、ドイツ・スペインの様に価格が低くなるのではないかと、又電力の安定性が良くない水力についてはすでに立地が無いと思う。水力ではあまり多くの発電量が無理だと思う。原子力については安定電力として今後の新規設置の新しい技術を入れて、安全性を十分吟味して新設を許可すべきと思う。廃炉に必要な技術と、新炉に対する技術者が現在でも不足と思う。原子力技術者の増強を国として力を入れるべきだと思う。日本のみ廃炉にしても、中国等で事故を起こした時には、日本列島に影響が大きいのでその意味でも原子力技術者の増強が必要である。省エネだけでは無理と思う。直流高圧送電網により送電ロスの削減を考えるべきと思う。ドイツでも風力発電の送電線設置が反対であり進んでいない。連携線や周波数変換所は、Jパワーの設置となっている。ドイツの原発ゼロは有名だが、ヨーロッパ圏の電力網で再生可能エネルギーが良いとなっているが、日本は島国の事を考えていない。
134	わざわざ会場に足を運んだのにHPで見れる以上の情報を得ることができなかったのはむなしい。政府は根拠を示すべき。コストと命を同等に語る意見表明者にはがっかりした。表明者の選択に意図を感じさせては「意見聴取会」とは言えない。マスコミ・録音等の許可などクリアなイメージを大切にしているような姿勢はいいが、意見表明者の選び方の透明化をはからないと意味がない。会をはじめの前に、どれくらいの方が応募し、どの意見を支持する人がどれだけいたのか、そして9名を誰がどの様な方法で選んだのかを示すべき。これをやらなければ、デキレースと思われるのも仕方ないのではないかと。次回以降改善すべきである。表明者に市議会議員がいたのは問題ではないか。何か政府の無責任感を感じる。政府はひとつのシミュレーションに基づく意見・データを示し、それに対する意見をもらうという形が正しいのではないかと。各々の国民は自分の意見を表明しているのに、政府だけが「自分の意見」をいっていないように感じている。
135	安全を絶対条件として、既存の原発は稼働させるのが当然。従って0シナリオとかは絶対に反対である。将来的には原発比率はある一定水準を維持するのが妥当と考える。この点では、15シナリオは2030年までの"先延ばし"シナリオであり、"柔軟な対応をする"シナリオとの記載もあるが、外部状況に大きな変化があった場合でも"2030年までは何もしない"シナリオになってしまうことを危惧する。従って15-20シナリオが消去法によれば最も好ましいが、原発比率15-20%が最も良いかどうかは分からない。再生エネルギーがリーゾナブルな国民負担でシナリオどおり普及するか？化石燃料の国際需給環境は将来的にどうなるのか？将来の状況は全く不確かである。従って、最も重要なことは、原発比率の一定量の維持を念頭におきながら、いつでも修正、後戻りできる体制を整えることである。一方、全く不十分なのが温暖化対策に関する説明が全て"25%"で選択することすらできない。実質的に選択肢が一本化されているにもかかわらず、その背景や政府の考え方に関する説明がない。温暖化対策は、国民負担や国際社会の対応状況（国際交渉の進捗など）と照らしあわせて上で、"どこまでやるか？"を徹底的に議論、検証することが必要である。従って、国民はまずは自分の負担の重さを正確に知る必要があるが、今回、そのような国民各層に必要とされる負担費用に関する分かりやすく詳細なデータが与えられていない。例えば、今回のエネルギーミックス、温暖化対策は国民に大きな負担を生じらるだろうと思って、"2030年の姿（総括表）"をみると、GDPは現状から大きな増額となっている。よくよく見ると、小さな字でこれはGDP"1.1小成長"という"前提"にすぎず、検討結果としては、全てのシナリオで"マイナス影響"が生じることが分かる。（何故このような"前提"と、"検討結果"を混ぜこぜにして分かりにくい表現をするのか？）影響額は、最大45兆円と非常に大きいことは分かったが、個人の生活にどのような費用負担が生じるのか想像できない。又、総括表では投資が80兆円～100兆円に対し、節エネが60～80兆円と"投資は回収できない"あるいは"投資回収は容易ではない"という厳しい現実が示されている。ただし、20兆円規模の大きな負担が生じることは分かるものの、自分のこととして実感できない。GDP、投資ともに国民に大きな負担をもたらすことは想像できるが、具体的に誰にどの位の負担が生じるか分からず、これでは国民的議論にはならないし、国民が理解、納得して、取り組む温暖化対策とはならない。是非、国民議論を喚起すべく、詳細で分かりやすい国民負担に関するデータを提示していただきたい。又、こうした国民的議論を経ることなく、このような過度な削減目標が、国際的に公約されることが無いようくれぐれもお願いしたい。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
136	<p>全員が日本を良くしようとしてしっかり意見を述べていたことはよくわかった。その過程の進め方が違うのは、目的がはっきりしていないこと。そのために何が大切なのかがバラバラであるから。私は0シナリオです。私は人間の目的は全てを幸せにすること。そのために必要なのは経済、金ではなくて、生命や安全が必要である。生命や安全が一番大切であるから、東京や大阪に建設にできない原発は、福島や茨城、新潟に建設すれば良いというものではない。</p>
137	<p>1. 本日は、関東地方で1回、200人のみというごく小規模かつ不十分な形ではありましたが、一応このような機会を設けていただき、参加できたことは良かったと思います。今日配布された資料、「エネルギー環境に関する選択肢」についてですが、私は日本のこれからのエネルギー政策を選択するにはきわめて不十分な資料であったと思います。今日の各シナリオ支援の方々のご意見を聞いていて確信しましたが、原発を今後も続けるか否かを考えるにあたってはやはり原発の安全性やその確保についての現状および現状をふまえた見通しや議論が不可欠であると思います。というのも、意見者 や の方々が、原発の安全性は技術力により実現・確保できるということを所与の前提としていたからです。私は、現状では、技術力の高低に関わらず、安全の確保は不可能ないし極めて困難であると思います。安全の確保には(1)実効性ある規制と、(2)情報公開を前提とした民主的プロセスの確立が不可欠です。しかし、(1)、(2)ともに、日本において実現することは不可能と考えます。(1)実効性ある規制の実現不可能について。まず、私が「規制」を強調する理由ですが、私は、今年の2~3月に原子力安全保安院や原子力安全委員会の会議を数回傍聴しました。そこで見たのは、電力会社(関西電力)と保安院が、結果として原子力を擁護し、専門家からの質問にもきちんと答えず話をそらしたり全然別のことを話した挙句、議論を打ち切るという姿でした。こういう現状は、様々な要因があると思いますが、原子力の専門家が専門家になるまでの間に、経済界・電力関係にからめとられないということが、そもそも難しいのだと思います。これに加え、批判しない、かばいあう、空気を読む、慣行を重視するといった日本的な性質もあいまって、「規制」はうまくいかなかったしこれからも、たとえ、規制庁などを作っても無理だとも思います。原子力関係全体の問題であり、人材育成の段階から既に問題は始まっているからです。(2)情報公開を前提とする民主的プロセスについて。「規制」は、広くとらえれば外部からのチェック全てを含んで考えますが、外部からのチェックや狭義の規制が実効性をもつには、情報公開が確保されていることが大前提となります。しかし、原子力に関しては、テロ対策等あり、そもそも情報公開になじまない性質を内含しています。したがって、情報が公開されていることが前提となる。民主的な批判、チェックにさらされる、というプロセスは実現不可能です。(3) (1)、(2)があいまって、原子力への規制は、うまくいかない。これは事故前はもちろん、事故があっても、姿勢が全くかわらない電力会社や保安院の態度から見ても、このように確信せざるをえません。2. 今後の原発について (1)私は、以上のことに加え、本日の意見者の方々がおっしゃっていた通り、地震の多い日本で、最終処分地の確保もその処分方法も不確実な現状で、原発を続けるという選択肢は、ありえないと考えます。仮に、そのことで経済的な負荷があるとしても、の方がおっしゃっていた通り、「安全に使えない原発ならば、維持できない」のです。(2)の方のご意見に加えて、私は、原子力発電が被爆を伴う点で人道に反しており、そのことを社会の大多数が知るに至った以上、社会として原発を続けることを選択することには問題があると思います。自分なら決してやらない原発での労働を、誰か(仕事がない人、お金に困っている人)がやるということを前提とした社会インフラを維持していくのは、社会として不健全だと思えます。雇用の問題を言う人がいますが、原発を無くせば、その分他のエネルギーを作る雇用が生まれるはずですが、今、原発労働に従事している人たちが、ただちに再エネルギー施設にスライドするわけではないかもしれませんが、そこは、原発を国策として推進してきた国が責任をもって、対策すればすむ話だと思えます。</p>
138	<p>1か月前まで原発稼働0で電力は足りていました。即ち、2012年に0シナリオで十分です。原発稼働は、被爆労働者を産み、処理方法が確立されていない核廃棄物を生みます。人と環境を汚す原発は、即時0で結構です。自然エネルギーが太陽光と風力に偏り、とても大変だと強調し、地熱や波力を入れず「国民に大きな負担が」と脅している様に聞こえました。原発比率と共に、事故が起きた場合の国民への被害や経済負担についても計算するべき。「絶対に事故が起きない」と強調していた原発で事故が起きたのだから、今後も起きる事は必至。それであれば、エネルギー政策と共に、事故時の被害シナリオも示して国民の選択を仰ぐべき。人口が一番多い東京で説明会がないのはなぜでしょう。不便な場所で開催して、参加しにくくするのが目的でしょうか。原発立地自治体の経済を本当に考慮するなら、交付金に代わる補助金で国が助ける、産業を誘致するなど原発推進に注いだのと同じ努力と、戦略をその地域の為に注げば、立地自治体が経済的に困窮する事など無いと思います。意見聴取会といいながら、意見表明できるのが9名とはあまりにも少ないと思います。「開催した」事実だけを作りたいたいのではないかと疑われても仕方のない会だと感じました。正々堂々と語り合える場を持たずに決めるのはやめて頂きたいです。</p>
139	<p>地震国日本で、「全く安全な原子力発電所」を作る方が再生可能エネルギー100%にするより難しい非現実的なことだと思えます。太陽光に関して言えば、どうしても「1200万戸」という事になるのでしょうか。広大な空地、埋立地を使っての大規模発電を考えるべきだと思います。原発維持を主張する方々は、「経済効果」ということを主張しますが、一旦大事故が起これば製造はマヒし、経済に深刻な影響を与えるのはフクシマでいやというほどわかったことです。本当に真剣に経済のことを考えるなら、脱原発を考えるのが妥当なことではないでしょうか。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
140	3つの%の選択肢について、不適切だと考える。私は0%を選ぶが、15%、20～25%の選択は問題の先送りにすぎないと思う。推進を選ぶ方の意見には、経済のことは有っても、廃棄物処理にともなう、危険やコストの事は含まれていない。まず、この3つの選択に分けて話を進めるという前提が無理がある。また限られた時間で、限られた人の発言のみでは、国民的議論とは言えない。もっと多くの人が意見の交換をして議論を深められるような開かれた聴取会にしてほしい。また、今回の人員の選択についても不透明な点が多く、不信感を持つ。どういう基準で選ばれて、この議論の結果がどのようにエネルギー対策に反映されるのか、キチンと後日発表してほしいと思う。どのような選択肢を選ぶにしろ国と、国民との信頼関係無しには立ちゆかない問題が多いと思う。合理的に情報公開をして、納得のゆく形で議論を続けてほしい。
141	警備スタッフ含め、スタッフ数が多い割に、スムーズでなかった。エネルギーを考える一人として、あまりに警戒されている雰囲気が悲しいです。家計の負担ばかりが増える自然エネルギーに完全にシフトするのは不安です。江戸時代の生活には戻れないので、経済と、生活のバランスを考えた施策を推進していただきたい。また、ゼロシナリオの場合の核燃料サイクルが直接処分になるのはなぜでしょうか。この3つのシナリオへたどり着くまでの議論を、わかりやすい形で国民に説明すべきと思います。知人数名と申込みをしましたが、当選しなかった者も数名います。会場の後ろ半分は、5割程度しか埋まってませんが、どのような計算でしょうか。
142	選択肢を検討する専門家委員会と並行して、このような会を開くべきだったのではないかと。教育も大きく変わらなければ、民主的な手続きや合意形式は難しいと思います。国策に対して「否や」を言えない中で、すすめられた原子力政策は、一方でこの4月から配布された放射線教育の教材に見られるように、福島事故のことを黙殺している。放射線のリスクについて現在得られる最善の知見を紹介していない。私たちのNPOでは、昨年、リスクコミュニケーション研究会を立ちあげました。10人の専門家にインタビューをして、彼らが異口同音に指摘したのが、基本的な科学教育のあり方の不備でした。科学は結果を覚えるものではないのです。科学は問う心、疑う力、考える技術のことで。にもかかわらず、日本の中等教育は、受験対応中心になってしまっている。教員の資質、学校文化の本質が、民主的なものになる必要があります。研究会で考えた「リスクコミュニケーションをすすめるための教材」ガイドラインは、科学観を育てる 市民性を育てる 考え方や思考のスキルを育てる ビジョンを共有する、持つ力の四点にしぼりました。8月に向けて、何を悠長なと思われるかもしれませんが、昨年5月27日、「20mSv撤回」の決定以降、何ひとつ本質的には変わることのなかった教育現場、学校をとりまく状況を見ていると、どこかで始めなければ変わらないのだということを強く感じます。文明の転換点に立つ時代にふさわしい教育へシフトする。あと一点、再生可能エネルギーはコミュニティベースなエネルギーであります。コミュニティの姿なしで実現される巨大自然エネルギーの推進は原子力と同じでつをふむと思います。この点についてもシナリオが不十分だと思います。
143	今回、時間の関係で9人のみが意見表明されましたが、この形で「国民的議論」をしたと言えるのでしょうか。意見を述べるができなかった多くの参加者の声はどうなるのでしょうか。あまりに国民の声を軽くみていると感じました。事前に(申込時に)、どのシナリオを支持するのか、どのような意見を言いたいのか書かせた上で事務局が9名を決めるというこの形には疑問を強く感じました。(事務局の思惑もふくまれているのではないかとおぼろげをえませんが)事務局にお願いがあります。今回抽選に落ちた人も含めて、申込みされた方がそれぞれのシナリオについて何人ずつ意見表明したいと手をあげていたのか、その数を公表してほしいと思います。0シナリオ××人、15シナリオ××人、20-25シナリオ××人、というように。かつ、申込みされた方がどのような意見を言いたかったのか、その声も公表して下さい。お願いします。
144	本日の意見表明を聞いてわかったのは、将来に希望をもてない人は現状を維持したがるということです。「エネルギー・環境の選択肢」と言いながら、環境の面の選択肢がありません。それだけでなくエネルギーの問題と言いながら、電力に集中した議論になってしまっています。原発が大きな関心事になっている現状では仕方ないかもしれませんが、今日の資料ではわかりませんが、省エネ比率が3つのシナリオで一律に設定されているのは問題だと思います。より省エネを深掘りするシナリオが必要です。また再生エネのより一層の推進が必要です。省エネ再生エネの可能性は様々なシナリオでも示されています。温暖化対策のためにも、再生エネ省エネの比率を高めシナリオが必要です。技術的な不安を訴える声がありますが、原発に向けてきた技術が資金を省エネ再生エネに向ければ、日本の技術ではできると思います。再生エネは不安定だという指摘もありますがスペインでの例もあり、安定供給する技術は日本でも実現可能だと思います。またゼロシナリオのみ追加対策が記述されているが、他のシナリオでも温暖化対策と強化するオプションをつけるべきです。省エネについても再生エネについても、今まで限界の議論ばかりされてきたように思いますが、可能性を見せる議論がほしい。行き場のない廃棄物を出す原子力、CO2を出す化石燃料によるエネルギーに頼るよりも、再生エネ100%を目指すエネルギー構成を示し、希望の持てる政策を示してほしい。最後に、今回申し込まれた方の意見を全て公表していただくことを望みます。パブコメについても公表して下さい。そして市民の声をもっときいて下さい。これ以上、つらい思いをして叫ばせるようなことをしないで下さい。ともあれこれだけのことをやるのは、とりえずお疲れさまでした。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
145	<p>本日は、このような参加型の時間を設けて下さいます、ありがとうございます。私も一児の娘を持つ母として、日本国民として、エネルギー問題について、他人事で考えていた今までを反省しつつ、本日参加させていただきました。私は、原子力発電に関しましては、ゼロにしてゆく政策を支援したいと思います。それと同時に、個人レベルで、エネルギーを創っていかねば(いきたい)いけない時を迎えていると感じております。自然エネルギーで発電をして電気の固定買取制度に、もっとスポットをあて、"私でも電気をつくれるのだ"という事実を知ってもらいたい。自然エネルギーに個人個人、投資すれば大きな力になるはず。現在公団に住み、公立の保育所に勤務する者として、まずは国がこういった公立が公共の場から発電モデルケースとなる所をどンドンつくって行って欲しいと思います。私たちは、この地で、安全でクリーンでグリーンなエネルギーを創り出せるはず。そんな未来を信じております。ありがとうございました。</p>
146	<p>政府が用意してきた三つのシナリオそのものに対する不信・疑問を感じざるを得ない。たとえば再生エネルギーの可能性として、太陽光と風力に限定しているの、「ゼロシナリオは無理そう」という印象が与えられてしまう。また発電にかかるコストや、各シナリオごとのGDPへの影響の算出に関して、信頼できない。現在の国の体制、「原子力ムラ」と形容されてしまうような体制を前提としたままでは、「信頼できるデータを基に、科学者・専門家による将来を予測し、国民的議論によって政策を決定する」という、やってあたり前のプロセスは実現できない。15%シナリオや20~25%シナリオを支持する人も、「安全確保が前提」とした上で話をしていた。しかし、大飯原発の再稼働が明白に示していたように、政府は安全よりも金を優先するという姿勢を持っている。しかもそのカネは、「日本国民」のカネでなく、大企業のカネでしかない。それは消費税増税を進めていることから明らかだ。今回の意見聴取会やパブリック・コメントの募集の仕方についても、政府が国民的議論を反映しようなど思っていないことは明らかだ。もし民意を反映して政策を決定し、国民に覚悟をもって政策に同意してほしいと言うなら、とにかく「8月に戦略決定する」という予定を撤回しろ。</p>
147	<p>個人的には「ゼロシナリオを目指す」べきだと思う。ただ、脱原発「派」・推進「派」といった形を顕在化させて、対立する構造を生むことは、議論熱だけがもりあがり、本当に話し合わなければならない事がかくれてしまう様に思う。そもそも、この3つのシナリオは原発依存率の差はあるが、本質的な差はない。この聴取会により、深まった意見をもとに次のシナリオを作り、さらなる議論を深め掘り下げていくべきだろう。拙速に「この3つのシナリオから答えを導きだす」事に、不安と不満を感じる。ちょっと先の未来、よりよい日本を目指す戦略をたてるのであれば、様々な考えを深めるべきだ。</p>
148	<p>・まず会の名前が長すぎてよくわからない。覚えられないので国民に浸透しない。どのような趣意をもってやっているのかと、うたぐってしまう。提案として"原発依存度国民意見発表会"はいかが?これでも長すぎる。・2030年ゼロ選択は逆に遅すぎるのではないか。できるだけスピードをもって対応してほしい。・最後に一部の人が騒いだのは不愉快だったが、枝野さんのおさえ方は評価できる。(ルールは守るのが大人の対応だ)・再稼働の際には、二次評価を必ず実行していただきたい。・首相官邸抗議について、まるで参加者へのいやがらせのようなコントロールはやめてください。機動隊員がかわいそうです。こうした抗議が出てくるのも安全を無視して(見切り発車して)再稼働したからです。事故は起こるかもしれない。でも起こった時はこういう対策をするから安心してくれと伝えるのが政治の責任だと思います。単に「責任」をもってと言うだけでなく、具体的にわかりやすく説明することが必要だと思います。国民はどうせ理解しないから、バカだからという気持ちをお持ちである事がみえてしまいます。オスプレイ問題も同じ根拠だと思います。・今回の一連のすすめ方について、特にパブリックコメントの集積、評価について、透明性の確保をお願いします。・日々のあつまり方をHPで公表する。(本日はメールで何通、FAXで何通、手紙で何通など)・パブリックコメントを読んでいる人を紹介する。(複数)・その人がどんな評価をしているか紹介する。(複数)・全体としてどんな意見がどの位あったのか、その人々がそれぞれに発表する。・その発表についてのコメントも受け付ける。・以上の結果に基づいて、大臣がパブリックコメントの全体のまとめを発表する。この位の透明性をもって実行していただきたい。・今日の会は冷静に議論できる場としてきわめて評価できるものだった。ただいかにも少なすぎる。もっと多くの場所で、もっと多くの人が、冷静に議論を重ねることが政治の質を高めることになると思いました。スタッフの皆さまご苦労様でした。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
149	<p>・このような会を行うことは、とても意義があることと思います。今回は、おそらく関心のある人が多く、応募されていたのですが、色々な見方、アピールの仕方があると思います。それを肌で感じる事ができてよかったですと思います。 ・今回の参加者で、あったのは、納得感のある選択ができるのか、また国のあり方を決めるリーダーシップがあるのか、というところが大きく欠けていると思います。 ・今回の登壇者があまりふれていませんでしたが、エネルギー政策の信頼感をとりもどすということが大切かと思えます。政策決定する立場としても、もっとも重要視していただきたいと思えます。インターネット等での広報は非常に、充実してきたと思えますが、周知の期間方法を見直して、時間をかけてやってほしいです。 ・再稼働の件についても、感覚的には、関西地域での万一のことを考慮して(火力発電所等のトラブル)、決定されたことは分かりますが、納得感という意味では欠けていると思えます。産業界の立場で必要と考えられるが、いつまでに安全性を高めて、どうするのかということ伝えてほしいと思う。その意味で(理解不足)、これ以上の再稼働には賛同しません。 ・私が懸念しているのは下記のような内容で、結果として、再生可能エネルギーも省エネも実現せず、火力、化石燃料に依存する状況に陥り、不確実な状況に対応できなくなることを懸念しています。やはり、 番目の方が言うように、全力で原子力の安全性を高めて、使用済みの核燃料が危険な状態で置かれないようにすること。再生可能エネルギーや効率のよい火力発電に投資がすすみ、電源の供給力を高めていくこと。まずは、2030年に様々な選択ができて、機会を増してゆくことが、今の時点でやるべきことと思えます。 ・今回の意見聴取会は、男性9割、中高年5割で、若者や女性が少なかったので、そういった方を限定した聴取会を設けてほしい。もっと機会を広げて、超党派の国会議員で政策合意がされ、右往左往しない政策決定をお願いします。</p>
150	<p>・まず、この選択肢が出来てきたプロセスに疑問を示す。なぜ会議に原発推進派が多く入っているのか、国民の声を代弁する立場であるのにも関わらずその基本がなっていない。出来レースである。 ・私としては2030年の先に2050年のエネルギーミックスを念頭に置き、今の電力利益を得ている人々の権益が届かない時代のエネルギーミックスを最終的に決めるというスタンスであるべきである。 ・また、原発を動かすべき理由を明確に、何点かまとめて示すべきだし、逆に再エネを推進すべき理由も明確に何点か示し、その段階で一度国民の選択を聞くべきである。そして国民の選択したエネルギーを主軸にエネルギー政策を考え、問うべきだ。(もちろんデメリットも提示) ・そしてもっと時間をかけるべきである。国民との対話の実質一ヶ月であれば、誰でも納得しないだろう。国民の声を聞くのであれば、 各世代、職、被災者、電力関係者の大まかな意見を客観的に並べて提示し、それぞれの立場、意見を分かりやすい形で出すべきではないか。今のように時間に押されて少数からくみとった意見を提示しても国民意見、議論としては不十分であろう。どの立場、世代、関係者がだいたいどんな主張なのか、同じ論点上で話し、その上で国民の声を聞くべきなのだ。特に若者は自分の未来がこの一ヶ月で決まってしまうことに、不信感と不安を持っている。若者の意見にもっと耳を貸し、声を政策に反映していかなければ2030年にまたエネルギー問題が起こる。そこをお願いしたい。 ・エコリーグ ・FOE Japan環境問題に関心のある若者が大勢います。ぜひアクセスして下さい。 ・どちらにしろ、このままの進め方では国民の多くが納得しない/理解できないエネルギー政策になってしまう。</p>
151	<p>意見を言っていた方々の中でも、いろんな人が言っていたが、日本の技術力ってのは、とてつもない力があると思う。では、今後その力(個人レベルではなく企業、国家レベル)をどっちに向けるかは、2030年結論ではなく、今すぐにも国会での議論が必要なのは、というより、みんながみんな、違う方向を向いていたら、この問題は絶対に解決できないと思う。自分の命をかけてでも、この問題を解決するくらい人間がリーダーシップを持って取り組んでいけなければいけないのでは...政治家同士くだらんことで、ガヤガヤ政党分裂とかやってたら、国民みんなソッポ向いてしまうのではない?みんながみんな、自分の気持ちを預けられる、国の政治でなければいかんよ、絶対。日本の技術力はとにかく最高レベルだと思うので、その力の一本化をできる行政を作って下さい。原発反対派の人間も、賛成派の人間もとんでもない力を持ってますよ日本人は!!今日みたいなこんなまともな意見交換、NHKでは見たことないです。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
152	<p>質問 経済成長の考え方について 政府は昨年12月に2020年度までに2%成長を目標としております。今回のモデル分析においては、2030年の自然体ケースを2010年代1.1%、2020年0.8%とした場合に想定される2030年時点の水準としている。政策目標を放棄したのか？ そうでないとするのならば、なぜこの目標を採用しているのか示すべき。 エネルギー安全保障の強化 エネルギー安全保障の強化の視点からは、具体的にどのような対策、施策を盛り込まれておられるのか？ 省エネルギーの実現度合について2030年度の最終エネルギー消費が、2010年比、 20%低下することになっているが社会的物理的な実現可能性について具体的に検証された上で示されているのか？ それとも理論的な可能性を示しているのにすぎないのか？ 家計への影響について 各シナリオごとの家計可処分所得に関するデータを示してもらいたい。全てのモデルにおいて自然体ケースの電力料金が、2010年に比べて上昇している理由は何でしょうか？ 再生可能エネルギーの実現可能性について 今回のシナリオでは、再生エネルギー率が25~35%へと拡大することになっている。その実現の為の政策は示されてはおりますが、社会的、物理的な実現可能性について検証された上で提示されているのか？ 理論的な可能性を示したに過ぎないものなのか。全量買取制度によるサーチャージ額は2030年にいくらになるのか？ 企業稼働、家庭への電気代への影響はどの程度になるのか示すべきではないか。 意見、今日の意見聴取会に参加してより判ったことは、国民的議論とはほど遠い状態ではないかということです。 1. 冷静な議論をすべき、地合いにないのではないか。原発事故から一年ということもあり、感情論的発言が目立った。(特にゼロシナリオを選ぶとした人)これはエネルギー、環境といった国民の生活に直結する重要な問題であるのに、視野の狭い発言が多く残念であった。 2. 次回以降の聴取の前に、もっとエネ・環ホームページに様々なデータを示すべきである。国民的議論というからには、意思表明者は、地元の人を選定すべき。今回示されたシナリオのどれかが、2030年に実現されたときに、本当に日本は今より良い社会となり得るのか疑問。電気代も2倍近くなったにもかかわらず、電力不足からいつ停電するかわからない。国際競争力を失い、空洞化が進んで失業率が高止まりした社会。こういったことが本当に日本が目指すべき社会なのか。日本政府はシナリオへの詳細を示し、2030年のこの国のあり方がこうなることをわかりやすく提示した上で議論するべき。民主主義は数が全てではないと思う。ゼロシナリオを支持する人が多いからといって、それは国民の真の声を代表しているわけではないとお判りかと思われるので、本当に2030年に日本に住む国民の視点に立って、シナリオ策定、政策決定をお願いしたい。NGOに偏った政策決定は許されない。</p>
153	<p>意見を発表した方の心配の中に「ゼロシナリオ」は困難と考えられているというものがありません。私は、建築に関する省エネルギー化をこの20年以上前から実践してきましたが、考え方としてそれは技術革新の現状をまだまだ御存知ないためと思われず。もっとも、私たちのような技術屋からすれば、そのノウハウを広く告知するだけの手段をほとんど持ち合わせていないこともその理由の一部にあるかと思われず。現状の政府が考えているのは、現実の電力消費量を減らすよりも、別の発電方法を構築して、全体量だけはなんとか確保したいようにしか思えません。改めて、政府関係者に訴えたいと思います。資源が乏しいと言われる日本ですが、地熱(地熱は、通常知られている火山などの熱を利用する地熱とは違って、日本全国、全世界で回収可能な無償の環境エネルギーです)は日本全国どこでも無償で回収して利用することが出来ます。しかも、一年中安定した熱源です。なぜならそれは、井戸水と同じ性状を持っているからです。次に太陽熱。太平洋側の冬は比較的毎日晴れています。太陽光は、直接発電が可能です。その熱はパッシブ形式でダイレクトに全館暖房を可能にします。そして、生活廃熱。ほとんどの建物では、まず活用適用外の熱源ですが、建物の構造によっては、大きな暖房熱源となるのです。以上、3つの環境エネルギーを建物を工夫することで活用すれば、原発は、不要となるのです。この件に関しては、紙面の都合上、全てを説明することが出来ません。今回のシナリオのゼロを選択するために、政府の方へ、一度連絡を入れてくれませんか？</p>
154	<p>廃棄物の処理直接処分の問題、福島の問題、医学的問題、福島放射能問題が発展途上。原発は一国の問題にあらず、人類全体の問題。事故は制御不可能。国家観で原子力を語るべきではない。増して、経済領域で原発問題は次元が違い過ぎる。広島、福島と体験した日本は世界に向かって発信する。当然の事ながら非核問題に言及すべき世界の非核化を先導する。原子力は人類の根底的問題、原子力の処理問題が解決出来てから利用の問題が議題になる。企業、組織より、個人を個人の良識が必要とされる時代です。もしかすると現在の経済、資本主義社会や政治の体制、政治のシステム、これらにも根底的問題があるのかもしれない。個人の良識が正しく育ち正しく発言出来る組織、その事を考えていかなければならない。メディアの見識(メディアももっと勉強してください)、特に今後重要な問題は教育分野のあり方。今日の国民的議論は今迄にない事が行われたのは嬉しく思う。現在の重要課題、原子力以外の問題も国民的議論をベースにする事が必要なのかも知れない。ツイッター、フェイスブック(私はやっていないが)が可能性を持っているのだろうか？ 高齢化社会、人口問題、食料問題、グローバル化の問題等々それ以上に原子力の問題が当面の全世界的問題です。</p>
155	<p>人間のみならず、地球のあらゆる生き物の生存に一番大切な事はきれいな空気と水と土でしょう。私達は前の世代から受けついできたものを少なくともそのままの状態に次の世代へわたす義務があります。長い地球の歴史の中で、小指の先よりも小さな時間の間に私達現代人は今までになかった速度で環境を破壊してしまっただけです。今の経済発展や国力のために人間がコントロール不可能な原発に依存するのはやめるべき。私達は原発による経済発展の恩恵を受けました。私達はもう余生は長くないので勝手な事を云っていますが、この「つけ」をおわされるのは若者やこれから生まれる子供達です。もう老人は余計なことに口出ししないで次の世代にまかせましょう！！自分達で責任を負えない事はやめましょう！！</p>